

令和2年度 西区自立支援協議会活動報告

1. 主な取組内容・事例検討内容等

今年度の取組

① ワーキングチーム設立 ②WEB 会議導入について検討 ③事例を用いた研修の開催

<ワーキングの設立と活動内容>

コロナ禍で通常の集まりが確保できなかった頃から今年度は2つのワーキングチーム（WT）を設置

【新型コロナウイルス関連 WT】

コロナ禍において、挙がった相談や各支援機関の取り組みなど収集し今後の備えやコロナ禍における工夫などの情報の収集と活用を目指し設立。情報の収集方法については、アンケートを用いて収集することを決め、西区協議会と西区指定相談事業所交流会にてアンケートを実施。収集したアンケートの結果を元に次年度の WT の活動を検討していく。

【社会資源集 WT】

昨年度に社会資源集について話し合う機会をとの提案あり、今年度は機会を設ける為 WT を設置。

これまでの社会資源集に加え、エリアを絞って整理し社会資源がわかるマップを作ることを目標とした。当初は西区全体の地図作りを進めていたが社会福祉協議会西区事務所から、鳳2校区の住民がコロナ禍で活動場所が使えなくなり、集える場を作りたいとの意向に社協が応え、鳳2校区の地域情報の共有の場として『みんなの集える場交流会』を企画。共有した地域情報から地図作りをすることから、誘いを受ける。目的が共通していることから区協議会とコラボで地図を作る提案をし、今年度の地図作製はみんなの集える場交流会との共同作業で進めている。みんなの集える場交流会に参加し地域の社会資源を共有している。来年度も継続予定。

【WEB 会議】

西区役所は地下にあり、電波環境に課題があること、参加者により使用するソフトが異なることを共有。今年度は試験的に WEB 研修を実施。

【事例を用いた研修の開催】

西区指定相談事業所交流会にて選出した事例を用いて西区協議会と西区指定相談事業所交流会の意見交換の場として WEB を活用し開催。今年度のテーマは『親子支援～相談員のジレンマ～』とし、事例提供者の相談員が相談を始めたころから支援をしているケースを紹介。知的に障害のある親の支援に入る相談員が子の発達障害の特性に対して親へ医療など支援の必要性を説くも大丈夫と言われ、学校と支援のすり合わせについて連絡を入れても個人情報保護を理由に学校と連携ができなくなったこと等にジレンマを感じたケースを参加者と意見交換を実施。相談員からはどんな相談先や制度があったか等参加者へ投げかけ、困った時の相談先や学校との連携の仕方、エンパワメントスクールなどの社会資源等を共有。

2. 西区が課題と捉えていること

① 途切れない支援 ～児童から者へのサービス事業所間での引き継ぎ～

② 医療的ケア通学支援事業の活用 ～サービス調整の難しさ～

③ 親子支援 ～学校等との連携～

※特に優先順位は定めていない。

①は、西区障害児通所支援事業所交流会から、卒業する児童の引き継ぎができていない現状があり卒業不安定になるケースがあり事業所間の引き継ぎについて課題として挙がっている。②、③は西区指定相談事業所交流会から、地域課題を収集することを目的に個々の実践の中での困りごとを収集した中から選出。

①②は地域から挙がった課題の報告を共有するに留まり、③意見交換の場を共済研修として実施。